

地域密着型金融の推進に関する取組みについて

平成20年6月

株式会社 東和銀行

. 地域密着型金融推進計画の全体像	3
. 地域密着型金融推進計画	4
. 具体的な取組み事項と進捗状況	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	5
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	6
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	7
. 目標とする経営指標と実績	8
. 資料編	
経営改善支援等の取組み実績	9
ABLスキーム(動産・債権担保)の活用	10
第4回 東和新生会「ビジネス交流会」開催	11



当行は、「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」で求められている3つの具体的取組み「1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化」「2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」を実現していくため、地域から頼られる銀行を目指して「プランフェニックス」を推進中です。「プランフェニックス」では、5つの重要課題を掲げ、これらを達成することで「お客様の問題解決のお役に立つ金融機関としてのビジネスモデルの構築」を目指してまいります。

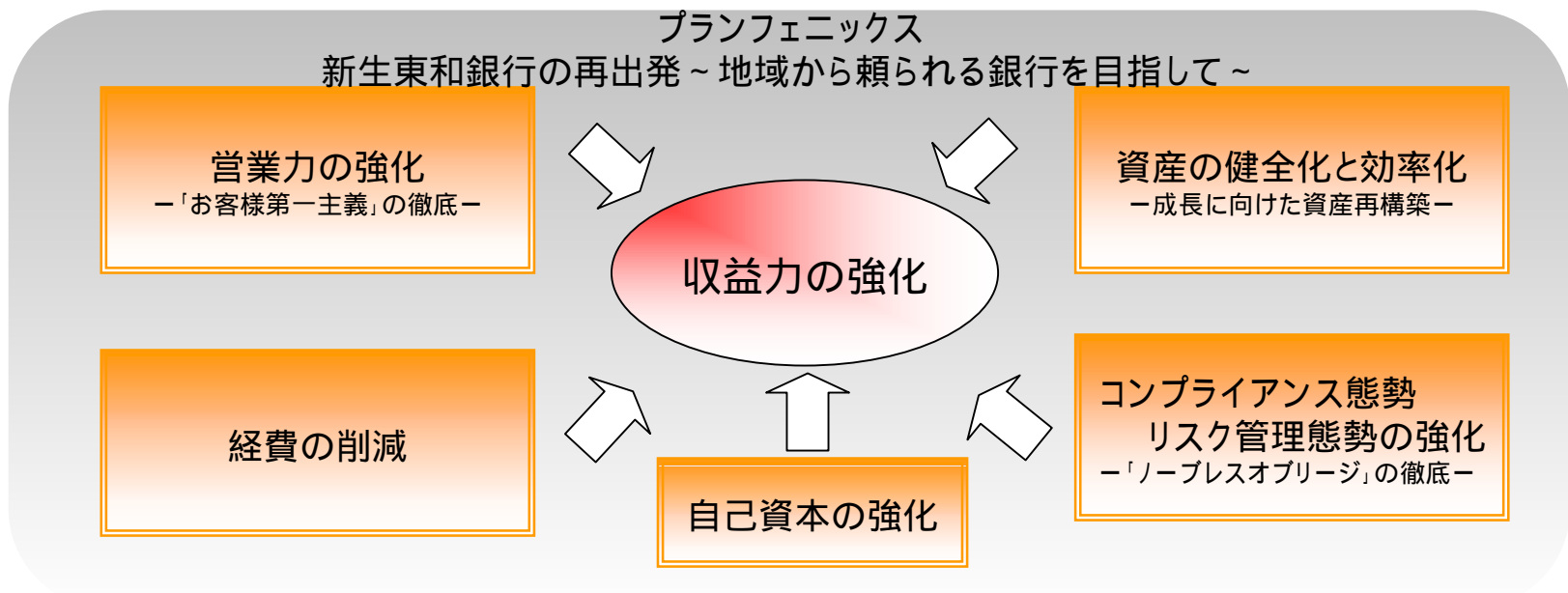
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

プランフェニックス

新生東和銀行の再出発～地域から頼られる銀行を目指して～



当行は、経営理念として「役に立つ銀行」「信頼される銀行」「発展する銀行」を掲げ、「お客様、株主様、役職員」が三位一体となった経営体制を確立し、「新生東和」として地域に密着しお客様のお役に立てることで収益の回復を図るべく努力しております。

そして、この「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、当行の経営体質の抜本的な改善により、将来に向けた確かなステップアップを実現するため、収益集中改善再生プラン「プランフェニックス～地域から頼られる銀行を目指して～」を策定いたしました。

当行にとっては、「プランフェニックス」を推進することが地域密着型金融を推進することになりますが、今回、「プランフェニックス」に盛り込んだ主要施策を地域密着型金融の視点から整理するとともに、新たな施策を追加したうえで具体的な数値目標を設定して推進することにより、地域密着型金融の着実な実現を図ることといたしました。

< 基本方針 >

「地域から頼られる銀行を目指して」

< 取組み期間 >

平成19年度下期～平成21年度

当行では、「新生東和」として生まれ変わる改革のスピードを加速させ、将来に向けた確かなステップアップを実現するため「プランフェニックス」(平成19年度下期～平成21年度)に取り組んでおり、この計画期間の終了時期に合わせた取組みとします。

< 重点取組み事項 >

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

重点項目	取組施策	進捗状況(19年10月～20年3月)
(1) 創業・新事業支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬大学との連携強化 ・創業・新事業支援向け融資制度の活用 ・ベンチャー企業向け業務の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成19年10月 群馬大学と連携してビジネス交流会を開催 ・創業・新事業支援融資実績36件349百万円
(2) 経営改善支援機能等の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画の作成支援 ・中小企業再生支援協議会の活用 ・法務、財務、税務の専門家、専門コンサルタント等の取引先への紹介 ・企業支援室担当者による経営改善指導、行内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善計画の作成支援 経営改善支援先10先 再生計画策定先2先 ランクアップ先1先
(3) 事業再生に向けた取組み強化	<ul style="list-style-type: none"> ・東和フェニックス株式会社を活用した企業再生支援 ・ハンズオン型事業再生手法を活用した再生計画の策定 ・中小企業再生支援協議会の積極的な活用 ・整理回収機構の企業再生支援スキームの活用 ・DES、DDS、DIPファイナンス、コベンツ等の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年3月 リーマン・ブラザーズグループとの間で、当行から東和フェニックス株式会社に承継される債権に関連して、同社に対する無議決権優先株式による出資、債権管理・再生支援・回収に関するノウハウの提供等の契約を締結

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

重点項目	取組施策	進捗状況(19年10月～20年3月)
(1)不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・無担保、第三者保証人不要の事業性ローンの活用 ・中小企業診断士育成のため、資格試験対策スクールへの派遣 ・行内・外部研修による「目利き」能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・BIZ - クイック 200件 23億円 ・中小企業金融基礎研修の実施 参加者 67名 ・法人渉外スキルアップ研修の実施 参加者 72名
(2)中小企業に適した資金供給手法の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・コベナンツを活用したシンジケートローン等の組成、推進 ・私募債引受け業務の推進 ・動産、債権担保融資の取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンジケートローン 26件 19,263百万円 ・私募債 3件 400百万円 ・動産、債権担保 2件 320百万円 ・平成20年5月 興銀リース、昭和リースと提携し東和機械担保ローンの取扱開始
(3)業務提携推進室の新設	<ul style="list-style-type: none"> ・先進行との業務提携の具体化に向けた取組み ・付加価値の高い幅広い金融商品・サービスの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年1月 業務提携推進室を新設 ・平成20年2月 新生銀行と業務提携 具体的検討内容 ・個人向け新型ローン、法人向け動産担保ローン等による新たな貸出金戦略 ・新型定期預金の開発、投信商品ラインナップ等による預かり資産の増加

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

重点項目	取組施策	進捗状況(19年10月～20年3月)
(1)地域の面的再生への取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体や商工団体との連携強化 ・ビジネスマッチング機能の強化 (東和ビジネス交流会の開催等) ・コンサルティング業務の強化 (地域経済研究所による税務相談、法律相談等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬大学と連携してビジネス交流会を開催 ビジネスマッチング成約件数7件 ・地域経済研究所による税務相談 280件 ・地域経済研究所による法律相談 18件
(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・経済レポート、税務トピックスの発刊 ・企業経営動向調査の実施 ・年金相談会の開催 ・講演会、各種セミナー、ビジネスレポートサービス等の情報提供やビジネス支援 ・利用者満足度アンケート調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・経済レポート発刊6回、税務トピックス発刊2回 ・四半期毎に企業経営動向調査を実施 ・年金相談会開催件数 170回 ・各種セミナーの開催 16回 ・平成20年3月 利用者満足度アンケート調査の実施

項目	指標	実績 (平成20年3月)	中間目標 (平成21年3月)	最終目標 (平成22年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化	(1) 創業・新事業支援融資実績	36件	80件	160件
	(2) ランクアップ率	10%	5%	10%
	(3) 再生計画策定率	20%	15%	25%
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用	(1) 私募債引受け件数	3件	5件	10件
	(2) BIZ - クイック実行金額	23億円	50億円	100億円
	(3) ABL(動産・債権担保)スキームによる融資実行件数	2件	5件	10件
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献	(1) 経営者セミナー他各種セミナーの開催回数	16回	20回	40回
	(2) ビジネスマッチング成約件数	7件	40件	80件
	(3) 年金相談会開催回数	170回	350回	700回

経営改善支援等の取組み実績

【19年4月～20年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先			経営改善支援取組 み率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /
			のうち期末に債務者 区分がランクアップし た先数	のうち期末に債務者 区分が変化しなかった 先			
正常先	8,304						
要 注 意 先	うちその他要注意先	4,588	1		0.02%		
	うち要管理先	57	2		3.51%		
破綻懸念先	690	7	1	5	1.01%	14.28%	28.57%
実質破綻先	187						
破綻先	59						
小計(~ の計)	5,581	10	1	5	0.18%	10.00%	20.00%
合計	13,885	10	1	5	0.07%	10.00%	20.00%

注) ・期初債務者数及び債務者区分は19年4月当初時点。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。

・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は には含めません。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合は に入ります。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って記載しています。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含みません。

・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。

ABLスキーム(動産・債権担保)の活用

流動資産担保融資

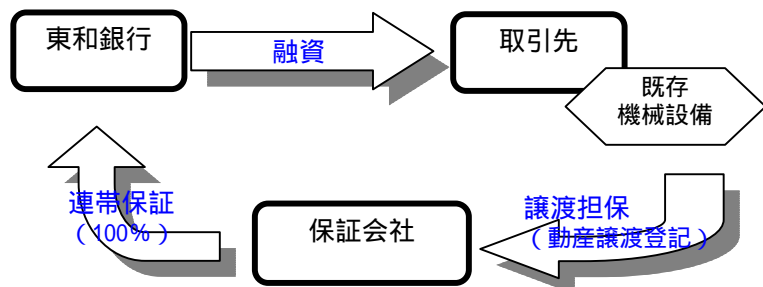
事業に必要な運転資金を、お取引先の売掛債権や棚卸資産を担保としてご融資するもので、平成19年度下期の取扱実績は、2件、320百万円となりました。

東和機械担保ローン(取扱開始日 平成20年5月7日)
取引先が現在保有する機械設備または当該ローンで購入する機械設備を担保とするローンであり、不動産担保に依存しない資金調達が可能です。

東和機械担保ローン商品概要

商品名	東和機械担保ローン Kタイプ	東和機械担保ローン Sタイプ
融資対象者	当行と融資取引のある法人 保証会社の保証を受けられる法人	保証会社の保証を受けられる法人
資金使途	事業資金(運転資金・設備資金)	
融資金額	1,000万円以上1億円以内	500万円以上
融資期間	5年以内	運転資金5年以内 設備資金7年以内
融資形式	証書貸付	
融資利率	当行所定の利率	
返済方法	毎月の元金均等返済	
担保	対象機械に担保権を設定	
保証人	法人の代表者(第三者保証人は不要)	
保証会社	興銀リース株式会社	昭和リース株式会社
保証料	保証会社所定の保証料	
保証会社手数料	保証会社所定の手数料	
法定費用	動産譲渡登記等の実費	

東和機械担保ローン



第4回 東和新生会「ビジネス交流会」開催

東和新生会では、会員の皆様方の企業の新事業展開・多角化等のニーズ支援のため、国立大学法人群馬大学様と協調して、定期的にビジネス交流会を開催しております。

開催日:平成19年10月11日(木)

時間:午後2:00～5:00

場所:大宮サンパレス

参加者:38名

第1部 開会・基調講演

- (1)群馬大学における産学官の取組み
群馬大学共同研究イノベーションセンター教授 須齋 嵩
- (2)群馬大学産学連携・知的財産活動紹介
群馬大学知的財産戦略室マネージャ 大沢 隆男
- (3)埼玉大学知的財産活動紹介
埼玉大学知的財産部知的財産コーディネータ 望月 弘章

第2部 技術相談、交流会

群馬大学 埼玉大学のブースでの個別技術相談

